

## 「悪」がロシアを脅迫している——キリスト教指導者

<https://www.rt.com/russia/588982-patriarch-kirill-russia-evil-threat/>

RT

December 14, 2023



モスクワ総主教キリル I 世は、祖国兵士家族委員会の活動家と会合した

その危険に直面したとき、「受動的スタンス」はありえない、とロシア正教会首長は言った。

この惑星全体が、モスクワが現在戦っている「悪」に脅迫されている、とロシア正教会リーダーのクリル総主教は、火曜日、考えを述べた。ロシア世界は、人間の文明の重要な意味をもつ一部である——それは、ロシアが今、直面している脅迫は、すべての国家に「恐ろしい結果」をもたらす得るという意味だ、と彼は加えて言った。

このキリスト教指導者がこう述べたのは、ウクライナに対する軍事作戦に参加している、ロシアの現役兵士の母や妻の会合に、出席したときであった。

キリル総主教は、ロシアへの脅迫を「悪」と表現し、それが広がらないように、我々は戦わねばならないと言い、「受動的なスタンス」を選ぶ余地はないとも明言した。「もしも我々が、何も起こっていないかのように装ったり、何も反応せず、反応する意欲もなかったりすれば、そのとき悪は、shagreen skin（研磨用のサメ皮）のように蔓延し、身体の健康な細胞を荒らし始めるだろう」と、ロシア正教リーダーは言った。

彼はさらに、この女性聴衆者たち、すなわち「祖国戦士家族委員会」(CFWO)のメンバーを「スピリットの真の戦力」と呼び、祖国に対する彼らの貢献を「この上なく尊いもの」と称えた。彼はこの組織の働きを強調して、それが重要な意味を持つのは、家族が世代間をつなぐものとして働き、「子どもたちに正教の信仰の価値と、祖国への愛を継承させる」からだと言った。

ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、先月、ウクライナに対する軍事作戦は、国家的主権とロシア国民の安寧のためだけでなく、「世界全体の自由のための」戦いでもあると言った。「ただ一つの覇権国家の独裁は老衰していく一方で」、他国にとって危険である、とプーチンは主張し、ロシアは、「より公平な世界秩序を建設する最先端に立っている」とつけ加えた。

大統領は、モスクワは、ロシア嫌いや他の形の人種差別に反対しており、「西洋のエリートたちの、ほとんど公的イデオロギーになってしまった」ネオナチズムに、反対していると言った。

関連ニュース:「キリスト教総主教が、ロシアにおける特異な現象を語る:——」

<https://www.rt.com/russia/577867-christian-patriarch-unique-phenomenon-russia/>

西側が霊的危機に直面しているのに対し、ロシアは「霊的再興」を経験しつつある、とロシア正教キリル総主教は言った。

関連ニュース「ウクライナが国家最大のキリスト教を禁止の予定——キエフ国

会議長」 <https://www.rt.com/russia/588975-ukraine-orthodox-church-ban/>

ウクライナ正教が、ロシア正教と親密な関係にあるとして、これを非合法とする法案が来年早々に通過する予定!

[訳者 Greatchain 注]

これは我々が「悪」 Evil というものについて、ずっと主張してきたことで、見逃すことができなかった。このモスクワ総主教の言う通り、我々は個々の悪人や悪行に直面しているというより、世界の「悪」から脅迫されているというのが正しい。そしてこれは、ロシアだけが背負っている危険でなく、世界のすべての国が背負っている。この総主教

の言われる通りなので、わが国の政府やメディア関係者の方々は、一字一句、心に留めて読んでいただきたい。かりにロシアが滅びれば、世界の各国が危険な事態となる。それは、サメ皮が「健康な人間の皮膚を破壊する」ようなものだというのは、うまい比喻でないか？ 実際に現在、我々が大切にすべき、すぐれた芸術にも道徳にも、敏感でなければならない我々の皮膚は、荒れ放題ではないか？

そして、ロシアは（戦争を仕掛けられる間は）断固として戦争を続けよ、いというのも、その通りである。これはウクライナやバイデンやネタニアフが、戦争をやめられないのとは、正反対の理由による。総主教のこの言葉を読んでも、まだ理解できない人がいるだろうか？ 総主教もプーチンも、それはロシアだけでなく、全人類に対してロシアが背負う尊い義務だと考えている。わが国の大多数の人々は、いまだにロシアが犯罪者で、ウクライナが正義の味方だと思っている。恥ずべきことである。ロシアのラヴロフ外相は、ロシアが国連総会で提起した、ナチズム非難決議案に、日本とドイツとイタリアだけが反対したことを、苦々しく論じている。いい加減に目を覚ますべきではないだろうか？

さらにここから教えられるべきことは、一つの国家としての正しい信仰のあり方である。我々はこのことについて、全く考えようとしなないかのようだ。先日、Intelligent Designの本部の人から私信があり、IDに対する作られた悪意も次第に影をひそめ、最近、最も活躍している頑強な反IDの闘士も、ひたすら4 letter wordsを使って悪態をついている、もって知るべし、と言ってきた。NHKも、もういい加減にダーウィン信仰（グローバリストによって作られた信仰）をやめなければ、世界に恥をさらすだけである。